

アジアタ・グループ

2015/12 期は小幅増収増益の見通し、積極投資が奏功して中長期的には業績拡大が期待できる

マレーシア | 通信 | 業績レビュー

BLOOMBERG AXIATA | REUTERS AXIA.KL

- 2015/12 期 1Q (1-3 月) は、売上高が前年同期比 5.2%増の 47.5 億 MYR、純利益が同 13.3%減の 5.9 億 MYR となった。
- 地域別にはスリランカ、カンボジアの各子会社が堅調に収益を伸ばした。一方、マレーシアとインドネシアでは通貨安や積極投資に伴う減価償却費の増加が利益を押し下げた。
- 2015/12 通期会社計画では、売上高成長率、EBITDA 成長率を何れも 4.0%としている。巨大市場であるインドネシアでは、2014/3 に買収した AXIS との相乗効果で、サービスの向上とともに顧客増加が期待できる。

What is the news?

2015/12 期 1Q (1-3 月) は、売上高が前年同期比 5.2%増の 47.5 億 MYR、純利益が同 13.3%減の 5.9 億 MYR となった。データ通信事業が好調だったほか、地域別にはスリランカ、カンボジアの各子会社が堅調に収益を伸ばした。一方、マレーシアとインドネシアでは通貨安や積極投資に伴う減価償却費の増加が利益を押し下げた。

子会社別売上高は、主力のマレーシアの Celcom は前年同期比ほぼ横ばいの 19.2 億 MYR。モバイルインターネット事業が伸びたものの、音声通信やショートメッセージサービスがふるわなかった。インドネシアの XL も売上高は同ほぼ横ばいで 15.5 億 MYR となった。2014/12 期 4Q に通信塔 3,500 塔の売却を実施しており、リース収入が減少した。スリランカの Dialog はモバイル事業が伸び、同 14.9%増収の 4.7 億 MYR。バングラデシュの Robi は同 14.1%増収の 5.7 億 MYR、カンボジアの Smart は同 54.1%増収の 2.0 億 MYR。何れもデータ通信事業が堅調だった。

How do we view this?

2015/12 通期会社計画では、売上高成長率、EBITDA 成長率を何れも 4.0%としている。成長率を小幅に予測した背景には、マレーシア国内での緩慢な景気回復、2015/4 に導入された物品・サービス税 (GST) の影響、ルピア安や、スリランカ及びバングラデシュでの政情不安等がある。ただ、サービス拡充と良質なネットワークを実現するための先行投資に注力しており、データ通信やスマートフォン事業に対する需要増加への対応には強みを持つ。また、インドネシア子会社の XL は 2014/3 に買収した AXIS との相乗効果で、サービスの向上とともに顧客増加が期待できる。XL は 2014/12 期に純損失 (赤字) を計上したものの、人口で中国、インド、米国に次ぐ巨大市場であるインドネシアにおいては積極投資の効果で中長期的には業績拡大が期待できよう。

業績推移

※参考レート 1MYR=33.24円

事業年度	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12F	2016/12F
売上高(百万MYR)	17,652	18,371	18,712	19,524	20,638
当期純利益(百万MYR)	2,513	2,550	2,349	2,525	2,972
EPS(MYR)	0.30	0.30	0.27	0.30	0.33
PER(倍)	21.57	21.57	23.96	22.24	19.97
BPS(MYR)	2.36	2.30	2.42	2.49	2.56
PBR(倍)	2.79	3.00	2.92	2.59	2.52
配当(MYR)	0.23	0.22	0.22	0.23	0.26
配当利回り(%)	3.49	3.19	3.12	3.61	4.08

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

フィリップ証券株式会社

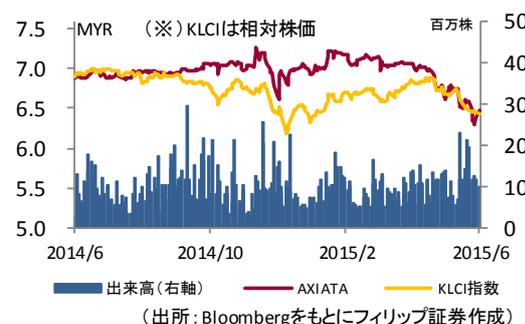
配当予想 (MYR) 0.23 (予想はBloomberg)
 終値 (MYR) 6.47 2015/6/8

会社概要

マレーシア国内、インドネシア、スリランカ、バングラデシュ、カンボジア、イラン、タイで子会社および関連会社を通じてモバイル通信サービス事業を展開。同社のアジアでの携帯電話契約者数は2億人を超える。マレーシア最大級のモバイル通信サービス会社であるCelcomを傘下に置く。

企業データ (2015/6/8)

ベータ値 0.79
 時価総額 (百万MYR) 55,516
 企業価値=EV (百万MYR) 71,105



主要株主 (2015/6) (%)

1. Khazanah Nasional Berhad 38.61
 2. Employees Provident Fund Board 13.78
 3. Skim Amanah Saham Bumiputera 9.89
 (出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

北浦 優子
 yuko.kitaura@phillip.co.jp
 +81 3 3668 8664
 庵原 浩樹
 hiroki.ihara@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

アジアタ・グループ

2015/12 期は小幅増収増益の見通し、積極投資が奏功して中長期的には業績拡大が期待できる

マレーシア | 通信 | 業績レビュー

BLOOMBERG AXIATA | REUTERS AXIA.KL

- 2015/12 期 1Q (1-3 月) は、売上高が前年同期比 5.2%増の 47.5 億 MYR、純利益が同 13.3%減の 5.9 億 MYR となった。
- 地域別にはスリランカ、カンボジアの各子会社が堅調に収益を伸ばした。一方、マレーシアとインドネシアでは通貨安や積極投資に伴う減価償却費の増加が利益を押し下げた。
- 2015/12 通期会社計画では、売上高成長率、EBITDA 成長率を何れも 4.0%としている。巨大市場であるインドネシアでは、2014/3 に買収した AXIS との相乗効果で、サービスの向上とともに顧客増加が期待できる。

What is the news?

2015/12 期 1Q (1-3 月) は、売上高が前年同期比 5.2%増の 47.5 億 MYR、純利益が同 13.3%減の 5.9 億 MYR となった。データ通信事業が好調だったほか、地域別にはスリランカ、カンボジアの各子会社が堅調に収益を伸ばした。一方、マレーシアとインドネシアでは通貨安や積極投資に伴う減価償却費の増加が利益を押し下げた。

子会社別売上高は、主力のマレーシアの Celcom は前年同期比ほぼ横ばいの 19.2 億 MYR。モバイルインターネット事業が伸びたものの、音声通信やショートメッセージサービスがふるわなかった。インドネシアの XL も売上高は同ほぼ横ばいで 15.5 億 MYR となった。2014/12 期 4Q に通信塔 3,500 塔の売却を実施しており、リース収入が減少した。スリランカの Dialog はモバイル事業が伸び、同 14.9%増収の 4.7 億 MYR。バングラデシュの Robi は同 14.1%増収の 5.7 億 MYR、カンボジアの Smart は同 54.1%増収の 2.0 億 MYR。何れもデータ通信事業が堅調だった。

How do we view this?

2015/12 通期会社計画では、売上高成長率、EBITDA 成長率を何れも 4.0%としている。成長率を小幅に予測した背景には、マレーシア国内での緩慢な景気回復、2015/4 に導入された物品・サービス税 (GST) の影響、ルピア安や、スリランカ及びバングラデシュでの政情不安等がある。ただ、サービス拡充と良質なネットワークを実現するための先行投資に注力しており、データ通信やスマートフォン事業に対する需要増加への対応には強みを持つ。また、インドネシア子会社の XL は 2014/3 に買収した AXIS との相乗効果で、サービスの向上とともに顧客増加が期待できる。XL は 2014/12 期に純損失 (赤字) を計上したものの、人口で中国、インド、米国に次ぐ巨大市場であるインドネシアにおいては積極投資の効果で中長期的には業績拡大が期待できよう。

業績推移

※参考レート 1MYR=33.24円

事業年度	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12F	2016/12F
売上高(百万MYR)	17,652	18,371	18,712	19,524	20,638
当期純利益(百万MYR)	2,513	2,550	2,349	2,525	2,972
EPS(MYR)	0.30	0.30	0.27	0.30	0.33
PER(倍)	21.57	21.57	23.96	22.24	19.97
BPS(MYR)	2.36	2.30	2.42	2.49	2.56
PBR(倍)	2.79	3.00	2.92	2.59	2.52
配当(MYR)	0.23	0.22	0.22	0.23	0.26
配当利回り(%)	3.49	3.19	3.12	3.61	4.08

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

フィリップ証券株式会社

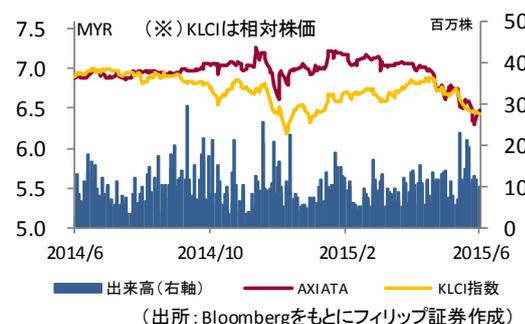
配当予想(MYR) 0.23 (予想はBloomberg)
 終値(MYR) 6.47 2015/6/8

会社概要

マレーシア国内、インドネシア、スリランカ、バングラデシュ、カンボジア、イラン、タイで子会社および関連会社を通じてモバイル通信サービス事業を展開。同社のアジアでの携帯電話契約者数は2億人を超える。マレーシア最大級のモバイル通信サービス会社であるCelcomを傘下に置く。

企業データ(2015/6/8)

ベータ値 0.79
 時価総額(百万MYR) 55,516
 企業価値=EV(百万MYR) 71,105



主要株主(2015/6)

(%)

1. Khazanah Nasional Berhad	38.61
2. Employees Provident Fund Board	13.78
3. Skim Amanah Saham Bumiputera	9.89

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

北浦 優子
 yuko.kitaura@phillip.co.jp
 +81 3 3668 8664

庵原 浩樹
 hiroki.ihara@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 北浦優子

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。